

会報

★ 広島県高P連

発行所

広島市中区八丁堀11番28号
朝日広告ビル4F
広島県高等学校
PTA連合会
電話(082)223-3347
FAX(082)223-3351
https://www.hiroshima-koup.org

NO. 181

県高P連
国公立大学進学説明会
とき 令和六年八月十日
ところ 広島県民文化センター
多目的ホール

本年度の進路対策委員長を務めさせていたおめでとうございます。県立広島観音高等学校PTA会長の稲井修司と申します。

国公立大学進学説明会では司会・進行を務めさせていただきました。

本年度の国公立大学進学説明会では、四年振りに新型コロナウイルス等の規制がなく開催された昨年度を大きく上回る応募をいただきました。保護者の皆様の関心の高さを、改めて



伺い知るとともに、昨年度応募多数のために締切日前に応募を打ち切るという事態を踏まえ、より多くの方に御参加いただくために説明会会場開催ならびに、オンラインでの参加を可能としたハイブリット開催をいたしました。



説明会は広島県高等学校PTA連合会会長藤原みどりの挨拶から始まり、続いて学校法人河合塾広島校舎長長谷川智彦様より「大学進学について」と題しまして、御講演を頂きました。

近年における入試制度や受験内容の変化など受験生や保護者の皆様が、進路に対して不安や心配されていることに対して、より深い内容の御講演をいただきました。

来場された保護者の皆様は真剣な面持ちで聞き入っておられたのがとても印象的でした。

続いて行われました国公立大学の学校説明会では海上保安大学校に始まり福山市立大学、尾道市立大学、県立広

島大学、観啓大学、広島市立大学、広島大学の七校が約二十分という短い時間の中で学長、副学長、学部長の方々が登壇されて、各学校の特色・教育方針や受験要項などを説明していただきました。

資料を見たり、調べたりするだけでは知ることが出来ない実の部分の話をまじかに聞ける機会でもあり、皆さん興味深く聞かれていました。





また多くの方に興味がある広島大学もさることながら予備知識があまり多くない海上保安大学校の方の説明や、発想力・国際競争力を育てる今の時代に沿った教育方針の叡啓大学などの学校に興味を惹かれました。

どの国公立大学の方の話も子供の志望校への検討の可能性が見い出せるものになったのではないのでしょうか。

また今年度も国公立大学進学説明会に対してのWEBアンケートを実施させて頂きました。

今年度はオンライン参加が可能とな

令和7年 県高P連行事予定

- 1月18日(土)
令和6年度第2回単P会長研修会
(広島ガーデンパレス)
- 3月中旬
令和6年度第2回常任委員会
(広島YMCA 本館会議室)
- 6月10日(火)
令和7年度県高P連定例総会
(広島県民文化センター)
- 6月下旬
令和7年度第1回常任委員会
(広島YMCA 本館会議室)
- 7月11日(金)
第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会
島根大会 (くにびきメッセ)
- 7月下旬(土)
令和7年度第1回単P会長研修会
(会場 未定)
- 8月9日(土)
県内国公立大学進学説明会
(広島県民文化センター)
- 8月21日(木)～22日(金)
第74回全国高等学校PTA連合会大会三重大会
(津市産業スポーツセンターほか)
※令和8年 大分県 令和9年 東京都
令和10年 北海道
- 10月19日(日)
広島県大会(呉地区) (呉信用金庫ホール)
- 11月4日(火)
全県一斉あいさつ運動

り、アンケートも多くの皆様に御協力をいただきました。

大変貴重な意見を沢山いただきました。ありがとうございました。

回答ではほぼ100%の方に、お子様の進学に向けて参考になりましたとの回答をいただくことが出来ました。

このアンケート結果では参加されたお子様の学年が一年生・二年生を合わせて六割を超えており、受験に対して早くからの対策を講じられているのが見受けられました。

今回のアンケート結果を基に、今後

の国公立大学進学説明会をより良くなるように、取り組んでいきたいと思えます。

運営に携わって頂きました広島県高等学校PTA連合会の役員・事務局・進路対策委員の皆様には朝早くからの準備や開催中の参加者対応、終了後の後片付けと、大変お世話になりました。感謝と共にお礼申し上げます。

六月の委員会の発足から、時間の中で御協力いただき無事に、国公立大学進学説明会を終える事が出来ました。

また、今回の反省点を委員会で話し合い、いただきましたアンケートを元に委員会で話し合い、沢山の方に参加していただけるように考えてまいります。

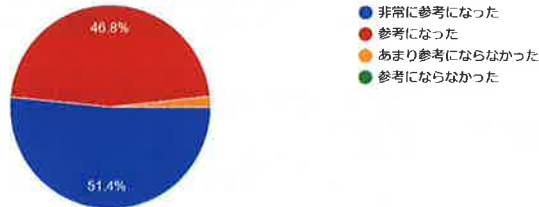
最後にお子さんが希望の進路に向かうための指標となるよう、来年の国公立大学進学説明会も期待していただければと思います。

(進路対策委員長 稲井修司)

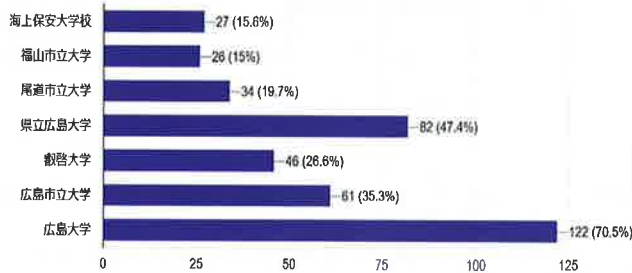
令和6年度国公立大学進学説明会 アンケート結果

| | |
|-----------|------|
| 会場参加者数 | 247人 |
| オンライン参加者数 | 855人 |
| アンケート回答数 | 173人 |
| アンケート回答率 | 16% |

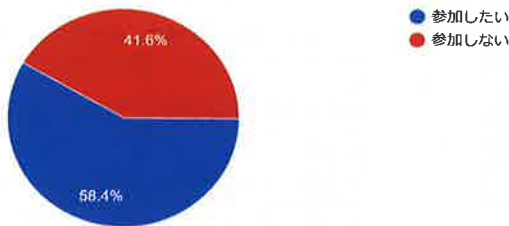
Q1 この度の進学説明会は、お子様の進学に向けて参考になりましたか？



Q2 どこの学校の説明に興味を持たれましたか



Q4 来年度の進学説明会には参加されますか



Q3 Q2で選択された理由をお聞かせください

- * 志望校のため*今までに知らない大学だったので興味深く聞けた
- * 志望校であるため、知らなかった大学のため
- * これからの社会が変わっていくだろうととても話が楽しかった
- * 一度に複数の大学の話を聞く事ができ、特徴を知ることができたため。
- * 新しい施設の増設の件や、共通テストの内容、推薦の説明があり、聞きたいことが全てつまっていたから
- * 興味深い学部と卒業資格、交換留学体制があったから。
- * 新設された学校なので、情報が少なかったが、卒業後のことを見据えた教育方針に関心を持った。
- * これからの時代を乗り越える力を身に付けられそう
- * いきよりの長期留学ではなく、徐々に海外の人との交流を深めることで、留学がスムーズにできると感じたから。
- * 在学中の勉強はもちろんの事、資格取得や就職にも大学が力を入れてくださっている事が、資格取得率からも改めて分かったため
- * ホームページなどだけではわかりにくい情報を知ることができ、子どもの進路の選択肢が広がりました。

Q5 Q4で選択された理由をお聞かせください

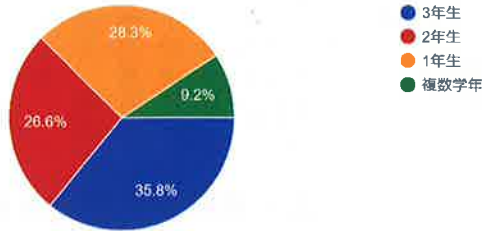
(参加したい理由)

- * 直接大学説明を聞くことができるので、来年も最新情報を知りたい。
- * 実際に聞くことで具体的な学校のイメージが掴める。
- * 学校の紹介だけでなく、入試等の講演があるから
- * 新課程になると言われていたため
- * 次回はオンラインで参加したい
- * パンフレットやHPではわからないことがあるので。
- * 一年で状況が変わる可能性があるため

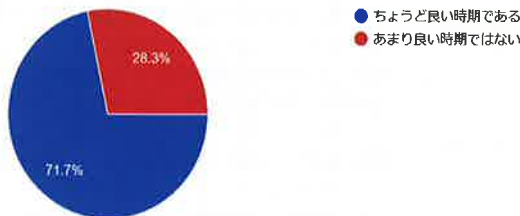
(参加しない理由)

- * また同じ内容なら一度でよいかと
- * 現在高3だから
- * 長すぎる。タイムテーブルがないから視聴がしんどい。広大がみたいのに最後だった。時間が分からないから、ずっとzoomを開いて聴くのがつらい。会場に行った人はずっといないといけないのだろうか？びっくりした。

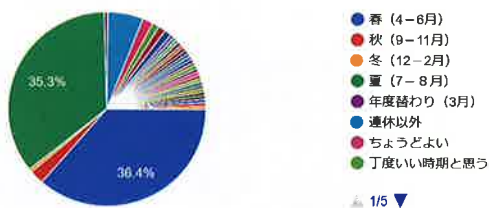
Q6 現在のお子様の学年をお聞かせください



Q7 開催時期についてお聞かせください



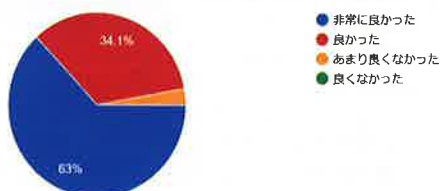
Q8 Q7であまり良くないと回答された方へ最適におもわれる開催時期を教えてください



Q9 学校法人河合塾様の講演は参考になりましたか



Q11 今年度からオンラインを含めたハイブリット開催となっております。感想をお聞かせください



Q10 Q9で選択された理由をお聞かせください

- *説明が的確だった。
- *親としての心構えなど参考になった。
- *最新の入試内容や、志望校の決め方、受験に対する向き合い方等、大変参考になった。
- *塾の現場の先生からのお話をあまり聞く機会がなかったのと、目で見る数字での示しがとても見やすかった。
- *学校と違い、現場の情報で具体的に分かりやすかった。
- *どこに力を入れたいのかが、明確になった。
- *2025年度から共通テストが新課程になったが、傾向と対策が分かりやすく説明されていた。
- *学校推薦型を選択しているが一般型のことも知れてよかった。
- *塾に通っていないため、学校以外の所から情報を得る機会がなかったため。
- *1年生から勉強した方が、2, 3年生からよりも時間があるって、基礎を固めやすいということを知ったから。
- *塾が持っている情報、ノウハウが聞けたから。

Q12 Q11で選択された理由をお聞かせください

- *遠方から来れない人に良い。
- *ハイブリット開催を知っていれば、それで申し込みをしたかった。
- *沢山の方が情報を知る機会が出来るため。
- *時間に制限があっても出席できるため。
- *参加者のニーズ、事情に合わせた対応で良い取り組みだと思う。
- *会場が混む事なく、説明に集中しやすかった。
- *会場参加だったが、資料もらえて、会場が空いていたため。
- *オンラインの人にも事前に資料の配布があれば、さらに良かった。データより、物が欲しい。
- *昨年、会場に参加させていただきましたが、自分だけしか話を聞けなかった。今回は自宅で、子どもや主人と一緒に聞くことができたため、話し合いをしながらとてもゆっくり落ち着いて聞いて良かった。
- *画面越しがしんどかった。
- *ハイブリットであれば、生徒にも視聴して欲しい。

Q13 全体を通してご意見・ご感想をお聞かせください (フリーコメント)

- *もし可能なら、各大学のブースがあってもいいのではと思った。
- *国公立大学だけでなく、私立校もあると良いと思う。
- *大学説明のスクリーンの文字が小さすぎて見えなかった。資料で追えるわけでもなく非常にわかりづらい。
- *来年からの試験内容が変わる事を知らなかったため、良かった。
- *学校によって会場での参加人数が決められており、オンライン参加もあるなら会場へ来たい方を申込状況によって指定の人数を越える場合も追加出来るように配慮頂きたい。
- *高校1, 2年生時に参加すればよかったと思った。
- *オンラインも資料が欲しかった。資料がないため、見にくかった。
- *日々情報は変わってきているなど感じました。子供も親も、常にアンテナを立て、関心を持っていないといけななと思った。
- *必要な学校の情報はもちろんのこと、資料を請求したり、オープンキャンパスに参加していない学校の説明も聞け、参考になった。
- *河合塾の先生に入試に向けた準備をいろいろ教えて頂き、生活面から、今やるべきこと、など、そして共通テストについてもより深く分かった。
- *開催前にタイムテーブルを公開して欲しい。
- *近隣の国公立大学も含め、年1回ではなく複数回開催してもらいたい。
- *受験は親から子への情報提供と家庭環境のサポートが必要だと言う事を改めて認識した。
- *オンライン視聴の登録完了メールが、事前登録から2~3日後に送られるとプリントにあったが、かなり遅くに、送られてきた。リマインドメールもプリント記載の日ではなかった。
- *また来年度もあつたら、各大学の障害を持った学生の在籍状況や、バリアフリー環境の整備状況などについても情報発信していただけると有難い。

第七十三回

全国高等学校PTA連合会大会

茨城大会

とき 八月二十二日～二十三日
 ところ 水戸市
 アダストリアみとアリーナ

全国高等学校PTA連合会茨城大会

第一日目 分科会に参加して

令和六年八月二十二日から二十三日の二日間、茨城県水戸市にて全国高等学校PTA連合会全国大会が開催されました。

「歴史の町で変革を遂げる新たな時代が目に入らぬか」というテーマで開催され、水戸黄門が有名な土地だけあり、町には徳川家や光園公にまつわるものが多く見受けられました。

第一日目は五会場に分かれて分科会を開催。第一分科会は「教育の過去・現在・未来」、第二分科会は「保護者・教師・生徒が抱える問題の解決法」、第三分科会は「新・生きる力と家族の絆」、第四分科会は「みんなで考えようこれからのPTA」、第五分科会は「これからのコミュニティスクール」というテーマでした。

私は第四分科会に参加させていただきましたが、会場には多くの参加者が

おり、PTAの在り方について関心の高さがうかがえました。

講師には今現在も滋賀県にてPTAに携わっておられる花園大学教授炭谷将史氏をお迎えし、「PTAは学校作りのパートナー」という題目で講演いただきました。

まずはPTAの歴史をお話いただき、その後PTA不要論などが出ている昨今の状況に対して、問題を整理し、炭谷氏のお考えをお話いただきました。

我が子が通う学校が良い環境になつて欲しいという保護者の思いがあらながらも、PTAの解散が増え、PTA不要論が上がる理由について、炭谷氏は「目的や必要性が分らない」「大変そう」というイメージなどでPTAを知ろうとしてもらえていない事や、連合組織の必要性や運営方法に対して疑問を持たれているという点を上げられています。

そういった問題を整理し、今後に向けて、会費を一口五〇〇円などの寄付形式にすることや会費の支払や活動への参加で会員を種別分けするなどの会費や会員制度の在り方の再検討、活動を負担と感じさせないよう「大人のサークル活動」として捉え、有意義な会議になる工夫や楽しんで活動できる風土作り、学校運営協議会との連携での負担軽減、連合会の活動内容の再考をこ

提案いただきました。

現在のPTAは「負担」や「メリツト・デメリット」などのネガティブなワードが多く使われているのを、「感謝」や「協力」「おもいやり」など前向きな言葉を使う習慣に変えていってはどうかというお話や、連合組織があることで横の情報共有が出来て組織が向上していくというお話には大変感銘を受けました。

後半は座席近くの違う学校の方と四名程でグループになり、上手くいったPTA活動や悩みを話し合った後、会場全体で役員選出方法などの悩みを発表し、様々な取り組みを共有しました。グループワークを行うことで学校や地域での違いを知る事が出来たり、自身と同じような悩みに共感出来、有意義な時間となりました。

第四分科会に参加させていただき、今までのやり方に固執せず現代や状況に合わせた運営方法、考え方を学ばせていただきました。

このような機会をいただけた事に、茨城大会実行委員の皆様、また開催に携わられた全ての関係者の皆様に感謝申し上げます。

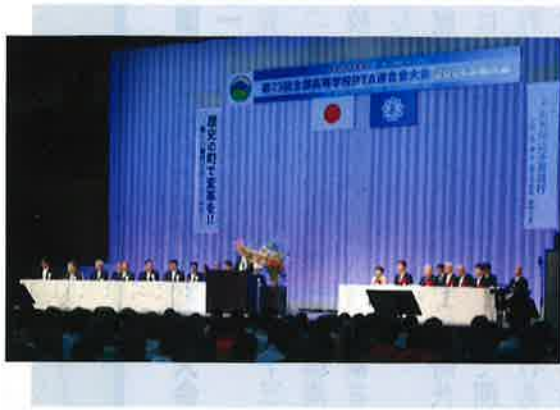
ありがとうございます。
 (調査広報委員長 小川亜矢子)

大会第二日目は、水戸市のアダストリアみとアリーナにて全体会が実施されました。



歓迎アトラクションとして、茨城県立大洗高等学校マーチングバンド部「BLUE-HAWKS」によるマーチングバンド・ステジドリル演奏が披露されました。同校は、全校生徒百六〇名の小規模校であり、平成五年に音楽コースを新設、平成二十年から全国募集を開始しました。県外からの入学生及び県内遠隔地からの入学生と共に大洗町から提供された寮で生活をしながら、『地域に愛されるマーチングバンド』を目標に、国内外において年間九十回前後の演奏活動を行っています。全国高校総合文化祭では、マーチン

引き続き、これまでのPTA活動に功績があつた団体及び個人に対する表彰式が行われ、本県からは優良PTA文部科学大臣表彰「団体」として、広島皆実高等学校PTA、福山明王台高



グ部門及びパレード部門に茨城県代表として二十四回出場し、講評者特別賞・グッドパレード賞を十大会連続で受賞中という輝かしい成績を残しています。BLUE-HAWKSメンバーによる素晴らしい演奏で茨城大会全体会の開幕を飾りました。

開幕にあたり、板倉茨城大会実行委員会委員長の挨拶にはじまり、田名部全国高等学校PTA連合会会長、阿部文部科学副大臣、大井川茨城県知事、高橋水戸市長の挨拶を頂きました。

等学校PTA、会長表彰「個人」として、神辺旭高等学校の高端邦裕様、三原高等学校の清親亮介様、音戸高等学校の太下公一様、会長表彰「団体」として、尾道東高等学校PTA、また、役員等表彰「個人」として、広島県高等学校PTA連合会前会長の岡崎光治様が受賞されました。

開会式に続き、『人材育成の不易流の里として活躍し、現在は二所ノ関寛氏による記念講演が実施されました。講演内容として、平成三十一年一月場所をもって現役引退後、大学院での

学び直しを決意しました。きっかけとして、プロ野球とは異なつて、Jリーグには「ドラフト制度」がない事への疑問やプロ野球とJリーグの育成方法の違いを知りたいという思いからだつたそうです。早稲田大学大学院スポーツ科学研究科に入学し、ゼミの課題や講義を通じて、第三者の視点や価値観に触れ、相撲部屋の経営や後進の育成方法について研究をしてみました。

まず、相撲部屋の親方の役割として、弟子の発掘、床山や行司などの裏方のマネジメント、支援者やファンの獲得等、多岐にわたり相撲部屋の経営に関わる全ての責任者であるということ

す。大学院での研究結果から、「勝利」「普及」「資金」の「スポーツビジネスの三大要素」を導き出し、東京都内に部屋を構えるより、出身地である茨城県に相撲部屋を作ったほうが良いということ、令和四年六月に茨城県阿見町に二所ノ関部屋を完成させました。

現在の所属力士は、令和六年九月場所で幕内優勝した大関・大の里を含め十八名です。部屋の育成方法として、稽古面では、土俵上で二名の力士が取り組んでいるのを多数の力士が立って見ている（カマボコ力士練習で必ず壁に張り付いている力士。テレビで

～PTA功勞表彰の御紹介～

第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会では、永きにわたりPTA活動に御尽力いただきました次の皆様がお受賞されました。

令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰

広島県立広島皆実高等学校PTA
広島県立福山明王台高等学校PTA

第73回全国大会会長表彰 団体

広島県立尾道東高等学校PTA

第73回全国大会会長表彰 個人

高端 邦裕
広島県高等学校PTA連合会 前副会長
(広島県立神辺旭高等学校前PTA会長)

太下 公一
広島県立音戸高等学校 前PTA会長

清親 亮介
広島県立三原高等学校 前PTA会長

第73回役員等表彰 個人

岡崎 光治
広島県高等学校PTA連合会 前会長



御受賞おめでとうございます。受賞されました皆様
に感謝申し上げますとともに、心よりお祝い申し上げます。
(県高P連事務局)

列を成して立っている力士のこと。) ことや食事は一日昼と夕の二食のみ、身体が出来上がっていないうちから毎日ぶつかり稽古を行うことで怪我のリスクを高まらせている従来のやり方から、四股や摺り足、テッポウといった伝統の基礎運動を重視しつつ、二面土俵(土俵を増やして稽古時間の有効活用)や一日三食の導入で怪我の防止と稽古の効率化を図り、三日相撲を取つたら、フィジカルトレーニングや基礎運動のみの日を設ける等、他の部屋にはない新たな試みを積極的に取り入れました。生活面では、二所ノ関氏が入門した平成十四年頃は、親方は絶対的存在あり、はつきりとした縦社会、時には竹刀等を使用し、水を飲ませない指導や食事や髪を結う時間以外座る暇もないといった「休みなし」の状況でしたが、二所ノ関部屋の方針として、

各自の意見が言える環境づくりを行い、大部屋制度から三名程度の個室化を図つて、プライベートを尊重する環境を作りました。

また、相撲界で過去に行き過ぎた指導が問題となった経緯から、コンプライアンスを重視し、各力士に合わせた稽古内容や食事に関することまで細かく管理を行い、休みも明確化するなど、相撲に対するパワハライメージを払拭しようと呼命に努力されています。た



だ、これまでの体質全てを排除するのではなく、相撲界の上下関係を示す番付順という考えは規律として残し、厳しくも温かみのある相撲部屋を目指しています。

どんな力士を育てたいかということに対し、親方は「皆に愛され、けがに強い力士」、どのように力士を育てたいかということに対し、「受け身ではなく、自分自身で考え抜くよう指導する」という思いを持っておられます。二〇二二年度の成績は四十四部屋中勝率一位という成果を残し、少しずつ芽が出始めています。

P T A 活動を取り巻く環境も相撲界の新弟子不足と同じく、少子高齢化による生徒数の減少の影響を受けています。P T A 加入者の減少や脱会などが引き金となり、昨今「P T A 不要論」が渦巻いている中、活動方法が曲がり角に差し掛かっているといっても過言ではありません。二所ノ関氏の考え同様『古き良きもの』、いわゆる伝統は残しつつ、変えるべきものはいくつかあります。変えることも必要であると思えます。

P T A 活動の精神として「生徒たちのため」という『不易』と、その精神を時代の変化や生徒の変化を見据えていく「P T A の変化(改革)」を『流行』と捉えて柔軟に対応していかなければならないと感じました。

全国大会を通して、P T A の在り方を今一度考え、P T A とは何か、何故必要なかを改めて見つめなおし、保護者・学校・地域社会と連携し、より良いP T A の新たな取り組みを目指すための有意義な機会となりました。復路のバス運行の都合上、残念ながら閉会式に参加できませんでしたが、大会の運営に際して御尽力頂いた茨城県高等学校P T A 連合会及び全国高等学校P T A 連合会等、全ての関係者に感謝を申し上げます。
(調査広報委員 橘 英樹)

全県一斉あいさつ運動ポスター及び

「通学・交通マナー」標語入賞作品の御紹介

広島県高等学校P T A 連合会では、五つの委員会が、様々な活動を行っており、その一つ、健全育成委員会では、平成二十三年度から「全県一斉あいさつ運動」の事業を始め、今年で十四回目を迎えました。

毎年十一月一日を「全県一斉あいさつ運動」実施日とし(土日祝日の場合は翌日)、各校で、また各駅前などで実施をお願いしております。登校する児童・生徒への声掛けを早朝より実施いただくなど、各校の会員の皆様の多大な御協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。

「全県一斉あいさつ運動」を周知いただくためのポスター募集も、例年通り行い、健全育成委員会で厳正なる審査会を実施し選考いたしました。

応募総数百二十一点の作品の中から、広島県立広島国泰寺高等学校 吉田美弓さんの作品が優秀賞に選ばれ、ポスターとなりました。

十一月一日の「全県一斉あいさつ運動」の前に各校へ配布し、掲示をお願いいたしました。皆さんの御応募をいただきありがとうございます。受賞された生徒さんは次のとおりです。

〔優秀賞〕

広島県立広島国泰寺高等学校

二年 吉田 英弓



〔佳作〕

広島県立広島国泰寺高等学校

二年 岡部 唯菜

広島県立広島国泰寺高等学校

二年 小川 裕子

広島県立高陽東高等学校

三年 吉本 悠香

〔会長特別賞〕

広島県立黒瀬特別支援学校

高一年 池田 優心

また、「通学・交通マナー」に関する標語募集も同時期に行いました。

応募学校十校から九十名の応募をいただき、各地区連合会で選考、五十三作品に絞り込み、委員会で厳正なる審査会を行いました。

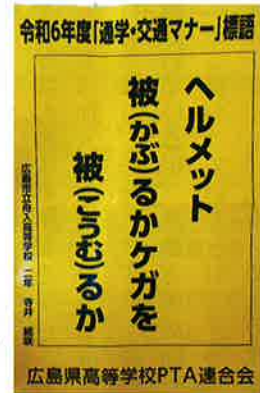
こちらもたくさんのお応募をありがとうございました。最優秀賞の作品はポスターとして、各校へ配布させていただきます。

受賞された生徒さんは次の通りです。

〔最優秀賞〕

広島市立舟入高等学校

二年 寺井 結咲



〔優秀賞〕

広島県立廿日市特別支援学校 阿品台分校

高等部一年 西田 百愛

〔広島地区連合会賞〕

広島県立広島観音高等学校

三年 尾上ひなた

〔広島東地区連合会賞〕

広島県立広島高等学校

二年 堂本 拓優

〔呉地区連合会賞〕

広島県立音戸高等学校

三年 佐野 かほ

〔尾三地区連合会賞〕

尾道市立広島県尾道南高等学校

二年 佐々木 蘭

〔福山地区連合会賞〕

広島県立福山誠之館高等学校(定時制)

二年 村上 琉巳

〔三次地区連合会賞〕

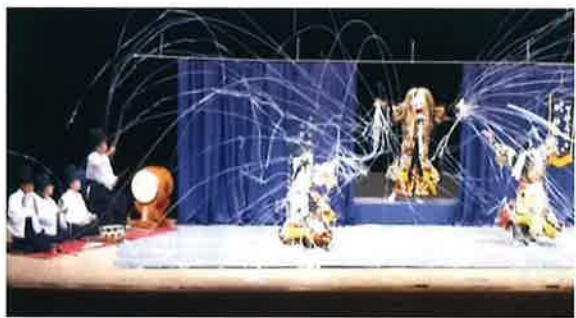
広島県立吉田高等学校

二年 山本 陽生

(県高P連事務局)

令和六年度 広島県大会

とき 十一月九日(土) 十一時三十分～十六時五十分
ところ 安佐北区民文化センター



爽やかな秋晴れの空の下、広島北地区高等学校PTA連合会主管で、安佐北区民文化センターにおいて、令和六年度広島県高等学校PTA連合会広島県大会が「つどい、つながり、共に学ぶ」子どもの可能性は無限大」をテーマに十一月九日(土)に開催されました。

まずオープニングアトラクションで登場したのは可部高等学校の神楽部です。

重ねを感じさせる完成度の高いもので、客席から何度も拍手喝采が上がり、皆さん魅了されていました。

つづいて開会行事が行われ、大会実行委員長の飯田敏行様の歓迎の挨拶があり、藤原みどり県高P連会長の主催者挨拶のあと、広島県教育委員会教育長の篠田智志様、広島市教育委員会の石橋正啓様、広島県公立高等学校長協会会長の山垣内雅彦様より御祝辞を頂戴しました。

こちらの

部は毎年「高校生の神楽甲子園」に出場している同校の名物部だそう。演目の「土蜘蛛」

は見ごたえ十分、華麗で荘厳な演舞は日頃の稽古の積み



その後、「令和のPTA改革 熱狂するPTAのつくり方」をテーマに基町高等学校前会長の福本博之様が「できる人が、できる時に」をモットーに組織の信頼関係づくりに取り組まれた事



例を話されました。
○慣例的なやり方を見直し、参加した人が楽しめるようにする。
○チームビルディングにはバーベキューが最適。

○時代に合わせてPTAも変化していかなければならない。

ぜひ、各単Pに持ち帰り検討して、より良いPTA運営につなげて行きたいと感じました。

休憩をはさんで二番目のアトラクションの「ピアノとピアノのひとつとき」ではピアノ奏者の沖田孝司様とピアノ



奏者沖田千春様の生の演奏を堪能しました。

竹内まりあの「いのちの歌」に始まり、自らの音楽に関わってきたエピソードトークを挟みながら、ビートルズの「イエスタデイ」、尾崎豊の「アイラブユー」と続き、どれも心に染みわたりました。

三番目のアトラクションでは安古市高等学校ダンス部が圧巻のパフォーマンスを披露。様々なアレンジで五曲をグループごとに踊り、会場の手拍子をさそいます。最後は六十人全員で踊り、



盛り上がりは最高潮になりました。
小休憩の後、講演として元広島カープの天谷宗一郎様とRCCの唐沢恋花アナウンサーによる「夢があつてこそ」をテーマにトークショーがありました。

天谷様の小さい頃の夢はパイロットになることだったが、祖父の遺言で「福井商業で甲子園に出てくれ」という約束を果たすため野球に打ち込むようになったこと、小さい夢をひとつずつクリアして行き、甲子園出場後はプロ野球選手になることが夢になったと話されました。



また、引退してからの夢はお世話になったカープに関わりたこと、迷う時は自分の選んだ道が正解だと思えるように一生懸命に取り組んで行くこと、子供の夢の実現には親のサポートが大切なことなどご自分のエピソードを交えながらお話しされました。ま

た自らのカープジュニアのコーチの経験から伸びる子の特徴としては「オンとオフの切り替えをしつかりしている子」「目的意識を持ってやっている子」だそうです。

唐沢アナウンサーは小さい頃はシンデレラ願望があり、キラキラした世界に憧れてアナウンサーを目指すようになったこと、背中を押してくれた両親に恩返しをしたいと思うことが頑張れる原動力になっていることをお話しされました。



また一階ロビーでは広島北特別支援学校の生徒、PTAによる「ひろしまけんクッキー、マフィン」などの販売や二階ホールでは広島北地区の学校紹介の展示があり、多くの来場の皆様で賑わっていました。



オレンジのお揃いのジャンパーで運営にあたられていたPTA実行委員の皆様が心温まる歓迎は深く印象に残り、映画泥棒の動画や演出はエンターテイメントとして素晴らしく県大会に新たなページを刻んだと思います。



大会開催に向けて企画し準備、運営されました広島北地区高等学校PTA連合会の皆様、充実した秋の一日をありがとうございました。最後に閉会行事を行い、次回開催地の呉地区の紹介があり、皆さん白シャツにブルーのスカーフで登場し、意気込みをPR

Rされました。

とき 令和七年十月十九日(日)
ところ 呉信用金庫ホール
テーマ 「クレバわかる」
楽しみにしています！

(調査広報副委員長 北尾滋敏)

広島県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、団体総合生活保険のペットネームです。〉

- 1. 団体割引25%適用・損害率による割引25%適用** (天災危険補償特約保険料には損害率による割引を適用しません。)
- 2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償**
- 3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気等を補償**
○携行品(学校管理下動産補償特約)の補償は学校管理下中のみです。
- 4. 「メディカルアシスト」で24時間・365日無料で各種医療に関してご相談いただけます。**
※詳細はパンフレットをご確認下さい。
※補償期間(保険期間)は1年となります。(令和6年4月25日午後4時より令和7年4月25日午後4時まで1年間)
※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。
※スマホ・PCから簡単に加入申込みができます。

〈保険金額と掛金(保険料)〉

| 補償内容 | W3タイプ | W2タイプ | W1タイプ | Aタイプ | Bタイプ | |
|---------------------------------|--|---------------------------------|----------------------------|---------|--------|--------|
| 個人賠償責任 (記録情報限度額 500万円) | 国内1事故無制限・国外1事故1億円限度 | | | | | |
| 弁護士費用特約 (人格権侵害等トラブル対策費用補償特約) | 国内示談交渉サービス付 1事故あたり300万円限度 1事故あたり20万円限度 | | | | | |
| 病気入院(1日あたり) | 5,500円 | 5,200円 | 5,000円 | — | — | |
| 傷 | 死亡・後遺障害 | 441万円 | 397万円 | 335万円 | 302万円 | 222万円 |
| | 入院(1日あたり) | 6,000円 | 5,500円 | 4,500円 | 4,000円 | 3,200円 |
| 害 | 手術 | 上記入院日額の10倍(入院中の手術)、5倍(入院中以外の手術) | | | | |
| | 通院(1日あたり) | 3,300円 | 3,300円 | 2,300円 | 2,300円 | 1,200円 |
| | 地震・噴火・津波 | ○ | — | — | — | — |
| | 熱中症 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 細菌性食中毒 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 携行品(学校管理下動産補償) | 1年で20万円限度(自己負担額:1事故3,000円) | | 1年で10万円限度(自己負担額:1事故3,000円) | | | |
| 被害事故補償 | 1事故3,000万円 | 1事故2,000万円 | 1事故1,000万円 | | | |
| 育英費用 | 200万円 | 150万円 | 100万円 | 100万円 | 50万円 | |
| 地震・噴火・津波 | ○ | — | — | — | — | |
| 保険料 | 16,650円 | 14,650円 | 11,650円 | 9,650円 | 6,650円 | |
| 制度維持費 | 350円 | | | | | |
| 掛金(1年分) | 17,000円 | 15,000円 | 12,000円 | 10,000円 | 7,000円 | |

○携行品の損害保険金は1年間でW3、W2タイプは20万円限度。W1、A、Bタイプは10万円が限度となります。

(注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(W3、W2タイプは20万円限度;W1、A、Bタイプは10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。

※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。

※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者-保険の対象となる方)が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

※病気入院(入院医療保険金)について:新規ご加入時の支払責任の開始時より前に被った病気については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規ご加入時の支払責任の開始する日からその日を含めて1年を経過した後に生じた保険金支払支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 ㈱東京海上日動パートナーズ中国四国本店 TEL:0120-018-217 令和6年3月作成 <22TC-102378>

(引受幹事保険会社)



東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社
広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー
TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

(共同引受保険会社)

AIG AIG損保

AIG損害保険株式会社 広島支店
広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル
TEL 082-535-6010

この保険契約は、上記の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社(幹事保険会社) AIG損害保険株式会社